

令和8年度 主要事業の概要



呉市の概要

明治22年の海軍鎮守府開庁を機に本格的な市街地の形成が進められた呉市は、明治35年10月1日に、全国で55番目に市制を施行し、最盛期の昭和18年には人口40万人を超える日本一であり世界でも有数の海軍工廠を擁するまちに発展しました。

終戦による海軍の解体とともに、人口も15万人に激減しましたが、昭和25年の平和産業港湾都市への再生を目指す「旧軍港市転換法」の制定により、造船、鉄鋼、機械金属、パルプ産業等の企業が進出し、瀬戸内有効の臨海工業地帯としての基盤を確立し、広島県の産業を牽引しています。また、平成15年から17年にかけて、近隣8町と合併したことにより、柑橘類の生産やかき養殖などの農水産業も盛んとなり、さらに半導体関連企業やIT企業などの多彩な業種が産業を支えています。

平成30年7月豪雨災害からの着実で力強い復興を推し進めるだけでなく、呉市ならではの特性と最先端のICTなどを融合させた取組を進めるとともに、AIをあらゆる分野で積極的に活用し、より質の高い市民サービスを提供するなど、誰もが住み続けたい、行ってみたい、人を惹きつけるまち〜イキキと働き、豊かに安心して暮らし、ワクワク生きる〜「くれ」を実現していきます。

呉市のプロフィール	
人口(R8.3.31)	195,811人
世帯数(R8.3.31)	103,485世帯
面積(R8.1.1)	352.04km ²
海岸線延長(R7.3.31)	336.9km
一般会計当初予算額(R8年度)	115,430百万円
事業所数(R3.6.1)	8,956事業所
農業産出額(R5)(推定値)	400千万円
工業製造品出荷額等(R6.6.1)	975,600百万円
商業年間商品販売額(R3.6.1)	343,243百万円
瀬戸内海国立公園	
陸地部分全体面積	67,280ha
(内)広島県部分	10,685ha
(内)呉市部分	4,221ha

地域の主な変遷			
年月日	事項	面積(km ²)	
明治35年10月1日	安芸郡和庄町、荏山村、宮原村、二川町を合併し呉市制を施行	23.14	
昭和3年4月1日	安芸郡吉浦町、誓固屋町、賀茂郡阿賀町を呉市に編入	48.65	
16年4月21日	賀茂郡広村、仁方町を呉市に編入	91.80	
31年10月1日	安芸郡天応町、昭和村、賀茂郡柳原村を呉市に編入	143.95	
平成15年4月1日	安芸郡下蒲刈町を呉市に編入	155.08	
16年4月1日	豊田郡川尻町を呉市に編入	171.83	
17年3月20日	安芸郡首戸町、倉橋町、蒲刈町、豊田郡安浦町、豊浜町、豊町を呉市に編入	353.18	

防衛省による多機能な複合防衛拠点の整備

呉市は、海上自衛隊の発足以来、我が国の独立と安全のために大きな役割を果たしていることを誇りにし、海上自衛隊と共に歩んできました。

一方、我が国を取り巻く安全保障環境は戦後、最も厳しいものとなっており、戦争を起こさないために抑力を高めることは、喫緊の課題となっています。

防衛省においては、日本製鉄呉地区跡地の一括購入に向け、日本製鉄と交渉を進めており、令和7年3月に呉市へゾーニング案を提示しています。

呉市は、防衛省に対して、呉市及び地元住民の意見に配慮いただきながら多機能な複合防衛拠点の早期整備が図られるよう要望を続け、この跡地が世界につながり、呉市民にとって誇りが持てる、若者を惹きつけるものとなるよう、取り組んでいます。



呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)のリニューアルオープン

大和ミュージアムは、これまでの調査・研究の成果を反映することで展示内容の充実を図り、令和8年4月23日にリニューアルオープンしました。

科学技術展示室では、ものづくりの地である呉の歴史を踏まえ、呉及び広の海軍工廠で培われ、現在に継承された技術を学ぶという観点から、実物資料として航空機のエンジン展示しました。また、実物資料に触れることで、本物の質感・重量感を体感できるハズオン展示も導入しています。

併せて、開館から約20年が経過した設備の見直しや、来館者の快適性・安全性の確保のため、エントランスホールの刷新やミュージアムショップ棟の建設等を行っています。



世界一魅力的な「呉」を目指して〜こどもを産み育てやすいまちへ〜

呉市人口戦略対策

呉市では、人口の減少を緩やかにするため、令和8年3月に「呉市人口戦略プラン」を策定しました。これからは、「呉市人口戦略プラン」に基づいて、人を惹きつけるまち、世界一魅力的な「呉」を目指すなど、人口戦略対策に効果的な施策を全庁的にを行い、人口減少を緩やかなものにしていきます。(下記は令和8年度の主な取組です)

子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備

0歳児から2歳児の保育料無償化

現在保育料が無償化されている3〜5歳児に加え、新たに0歳児から2歳児の保育料についても呉市独自で無償化することで、呉市において「保育料の全年齢無償化」がはじまります。子育て世代の経済的な負担軽減を図ることで、子育てしやすいまち「くれ」を実現します(令和8年10月から実施)。



周産期・小児医療体制の確保

広島大学、産業医科大学との連携を強化し、寄附講座の設置、奨学寄附金の交付などにより医師の確保を行います。また、寄附講座の設置に伴い、年間を通じた広島大学からの支援を受けて、呉市医師会小児夜間救急センター等の運営体制を強化します。



すべての子どもたちを守る医療費助成制度

市内居住の高校生以下のすべての子どもたち(18歳到達後の3月31日までの児童)の通院・入院に対して引き続き助成します。



小学校給食の抜本的な負担軽減

保護者負担とされている給食食材費について、国等の支援を受けて保護者負担を軽減します。併せて、国等の支援額ではまかなえない保護者負担分を呉市が負担することにより、小学校給食の美質無償化(1年間)を実現します。



若者や女性にとって魅力的な雇用の創出と働きやすい環境の整備

- 若者や女性にとって魅力的な企業誘致・留置による雇用の確保・創出
- 職場における意識改革による若者や女性が働きやすい環境の整備
- 既存産業の活性化・イノベーションの誘致
 - ・中小企業等への賃上げ応援奨励金及びAI導入促進
 - ・呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成 など



誰もが暮らしやすい魅力的なまちづくりの推進

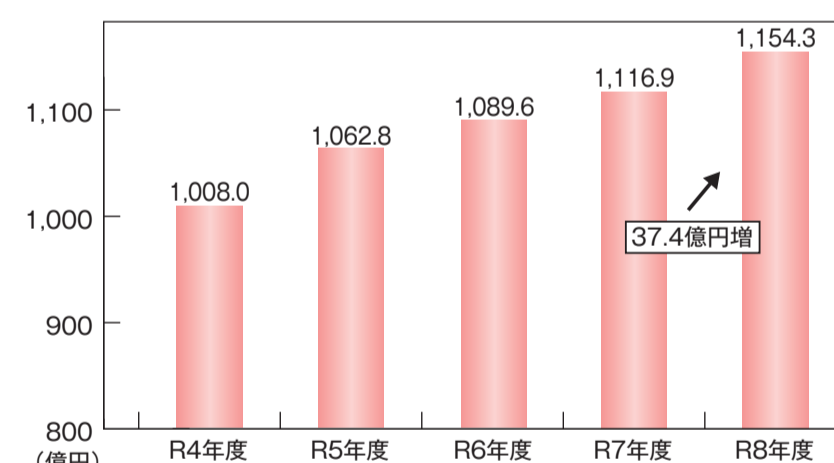
- 若者や女性に魅力的なまちづくりの推進
- 誰もが暮らしやすい環境の整備
 - ・民間による住宅開発の誘導
 - ・移住希望者の住宅取得支援
 - ・子育て世帯向け市営住宅の整備
 - ・新婚・子育て世帯の定住支援 など



一般会計予算の特徴

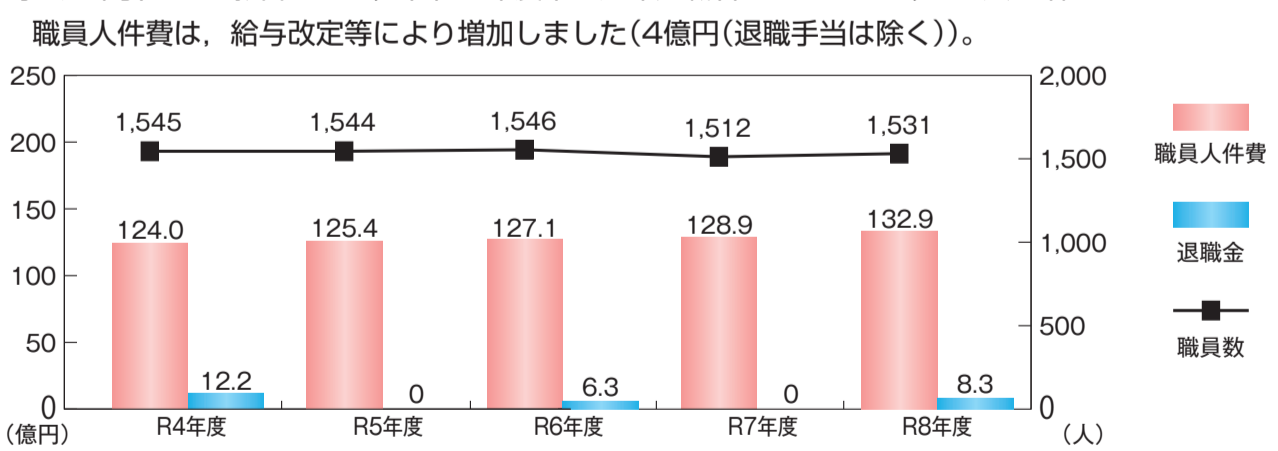
(1) 予算規模

全ての年齢における保育料の無償化や、東部地域の分岐小児医療機能の確保、呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換、スポーツ施設の移転・再配置整備や呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成など喫緊の課題である人口減少対策に取り組むため、令和7年度当初予算に比べて増となりました。



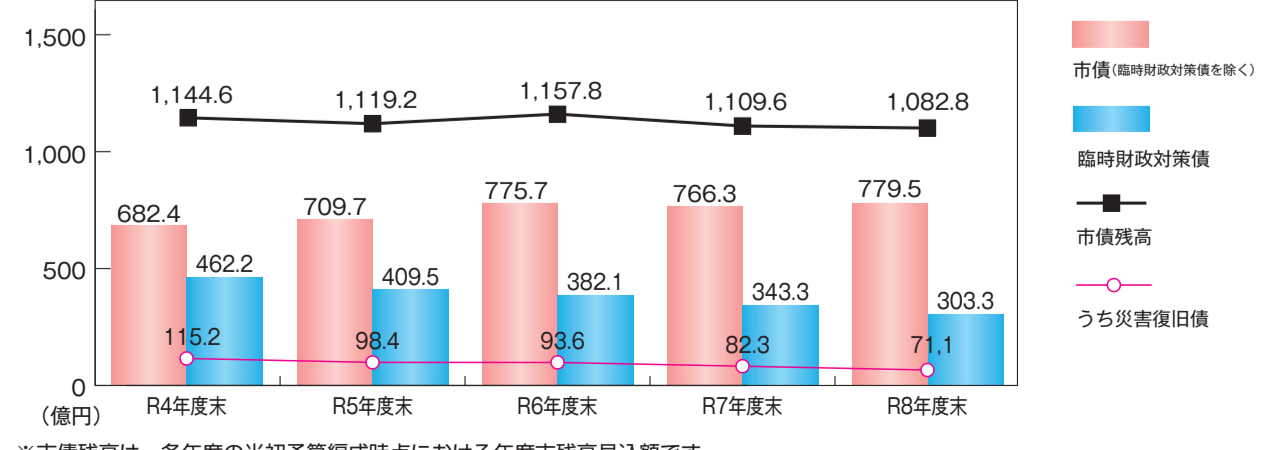
(2) 職員人件費

職員数は、行政改革の着実な実践により年々減少してきましたが、令和8年度については、段階的な定年引上げの影響により、令和7年度末の定年退職者がいないため、19人の増となりました。



(3) 市債残高

投資的経費の計画的な執行に努めるとともに、昨年度に引き続き、臨時財政対策債の発行が無かったため、当初予算ベースと比較すると、前年度末から市債残高は減少(26.8億円)する見込みです。



世界一魅力的な「呉」を目指して

呉駅周辺地域総合開発の推進

国・市・民間事業者が連携し、次世代型総合交通拠点を整備する呉駅周辺地域総合開発。アーバンデザインセンターの設立、乳幼児から中高生世代まで呉の子どもたちが集い自分らしく過ごす居場所の整備、JR呉駅を中心とした連鎖的開発の推進などを実施します。



呉市・広島大学による海洋・海事の拠点形成

呉市・広島大学Town&Gown構想を推進し、呉市と広島大学の「海洋・海事」ネットワークによる国際的な教育研究活動拠点の形成を進めていきます。

- <拠点形成に向けた取組>
- 広島大学海洋・海事未来研究所の設置(令和7年度)
 - 広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置(令和8年度予定)
 - 広島大学大学院における海洋・海事学位プログラムの構築(令和8年度予定)
 - 呉市・広島大学Town&Gown Officeの設置(令和7年度)
 - 海洋・海事分野の国際学会・国際会議の誘致
 - 海事・海事分野のスタートアップ企業の誘致
 - 世界海事大学(WMU)との連携強化 など



幸町地区総合整備事業

戦前は海軍下士官兵集会所、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設などとして親しまれた青山クラブや、呉市立美術館などが所在する幸町地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備します。



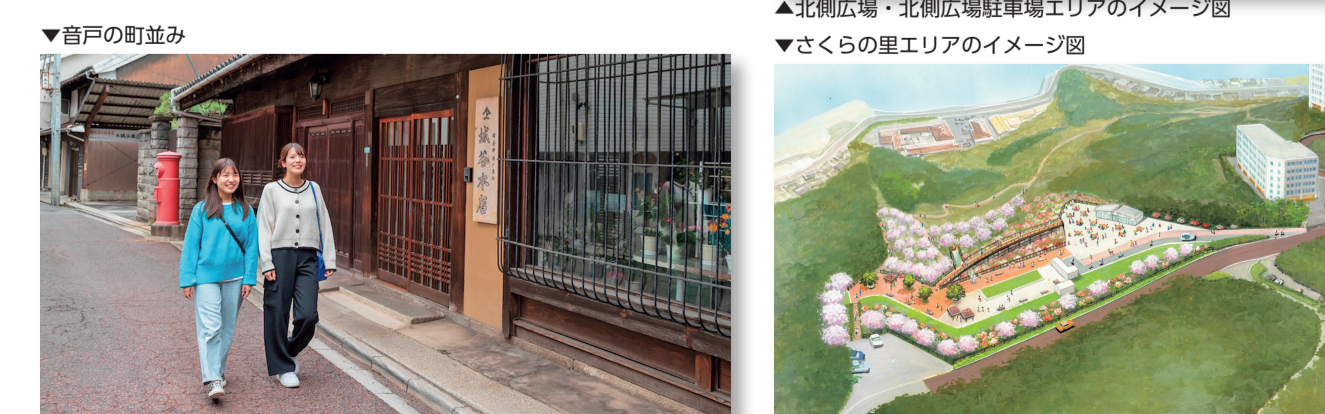
呉市総合スポーツセンターの産業団地への転換 スポーツ施設の移転・再配置

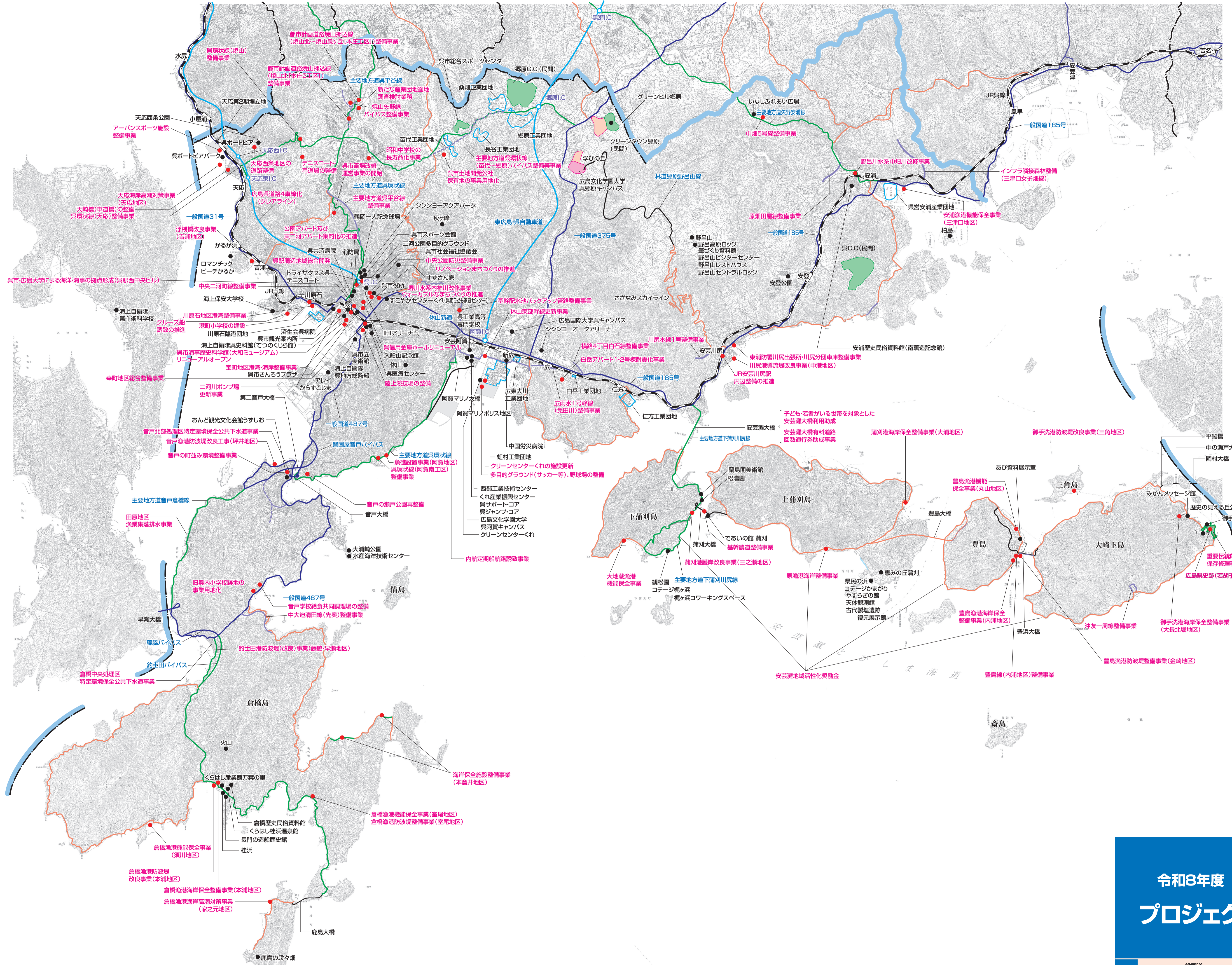
呉市総合スポーツセンターを産業団地に転換することで、税収増や若者の雇用創出および定住促進を図り、呉の経済の更なる発展につなげていくとともに、各スポーツ施設については、より良い施設となるよう着実な移転・再配置に取り組めます。



音戸の瀬戸公園および周辺の整備に向けた取組の推進

民間事業者によるラグジュアリーホテルや飲食施設の整備と連携した音戸の瀬戸公園のリニューアルに向けて、令和7年度に策定した「音戸の瀬戸公園整備計画」に基づいて、公園等の整備を進めます。また、公園対岸の音戸町地区において昭和時代に発展したメインストリート(通称:音戸なかみち)の舗装表面を石畳風に模様替えし、空き地を歩行者の憩いの場となる小公園として整備します。





令和8年度 呉市 プロジェクトマップ

一般国道	自動車専用道
主要地方道	臨港道路・農道等
一般県道	事業中

凡例